



ピアノの発表会



倅大がピアノを習い始めたきっかけは「吉本新喜劇のテーマ曲を弾きたい！」というなにわの血によるものでした。年中のころから始めたピアノですが、倅大曰く「練習は嫌いだけどレッスンは好き！」だそうです。そう思える先生に出会えたことをありがたく思えば、日々練習しないことに対するイラつきも半減するようになります。・。・。いまの先生は、一生懸命でとてもはきはきした明るい方で、ネガティブな形容詞が思いつかないような人です。まだ若いのに礼儀もしっかりしており、すごく律儀だなというも感心しています。

先日ピアノの発表会がありました。「発表会」といってもホールではなく、小さなイタリアンレストランを借り切って行った、とてもアットホームでお洒落な雰囲気での発表会でした。倅大はピアノ教室に通っているのではなく、私もレッスン風景が見れるようにと自宅でレッスンをしているのですが、9人中3人が男の子でした。もし自分が病気になるのであれば「自宅でレッスンなんてセレブかつ！」と突っ込むところですが、みんないろいろな事情があるなかでの一つの手段なんだなと実感しています。しかも！実際に会ってみると、他の親御さんがセレブにしか見えな小市民な私でした。(ニヤ)

会場が日ごろお世話になっているヘルパーさんの家の近くだったのでヘルパーさんも見に来てくれました。上京当時から倅大を知ってくれているので「目頭を押さえながら見ていた」と喜んでくれました。倅大は緊張のためノミスとはいきませんでした。とても良い経験になったと思います。幼いころ何十万円もするエレクトーンを親に買わせたのにすぐに辞めてしまった私に比べれば、倅大は立派です！

ちなみに倅大の目標である「ホンワカパッパ、ホンワカパッパ」という吉本新喜劇のテーマ曲は『Somebody Stole My Gal』といふアメリカのポピュラーソングが原曲です。失恋ソングらしいのですが、何とも悲壮感のないところがいいですね。

「エリーゼのために」演奏中！



先生と☆3



3人のヘルパーさんと一緒に(^o^)/



震災から5年・・・

3月11日で東日本大震災から5年が経ちました。当時、ALSの進行に伴い私と倅大は生活拠点を大阪に移しており、地震の揺れは体感していませんが、そのとき東京の職場にいた主人が言うには「とても立ってられなかった」そうです。

その日、大阪にいた私は知り合いのOTの先生と福祉用具専門相談員の方とで、自宅に導入する新しい福祉用具について相談したあと、私の運転で区役所に行ったことを覚えています。

「りえこ新聞」は平成23年の2月から発行しており、第2号で震災のことを書いています。あれから5年、すべての人にそれぞれの人生があったと思います。明石家さんまの座右の銘「生きてるだけで丸儲け！」という言葉ですが、これは『死』を身近に感じたことのある人ほど共感できる気がします。

TVで見た防災の特別番組を参考にしながら、5年目にしてようやく「防災力ハン」を用意することができました。「そのときはそのとき」と考えるのではなく、何があっても人生を生ききるための体制づくりです。(^-^)

～旦那後記～

「2011年に小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業後にいまはない職業に就くだろう」これはアメリカの大学教授の言葉です。例えばいま流行の携帯電話のソーシャルゲームですが、基本は無料で遊ばせてハマった人に1回300円のガチャをやらせて利益を出そう！というビジネスモデルが、月に5億もの売り上げを実現するなんて10年前は想像もできませんでした。そう考えると倅大が将来どんな職業に就くかは本当に未知数です。子供の将来には最大限の協力を惜しまないつもりですが、「パチプロ」を目指した場合に限っては躊躇なく全力で潰しにいきます。

今月のお知らせ

- 新婚の頃に住んでいたマンションの大家さんの絵画の展覧会で銀座に行ってきました。
- GW4/29～5/3 ひさびさに大阪に上陸予定です。ディズニーに来ていた弟家族が来てくれ